歳末たすけあい運動

衣料など同情金品募る
社協・婦人会員の手で

〝歳末たすけあい運動〟が今年も十二月一日から三十一日まで、全国一斉におこなわれます。

この運動は、世の中のまずしい人や恵まれない人に対して、みんなの〝たすけあい〟の真心をわかちあいそろって、明るい年越しができるようにとの願いをこめて毎年おこなわれるものです。

吉原市では、市および社会福祉協議会が中心となり民生児童委員協議会、連合婦人会などの協力によって市内の恵まれない人に明るいお正月をむかえることができるよう、みなさんに金品の拠出をお願いすることになっています。

たすけあいの金品は十二月一日から十日まで、婦人会員によって集められます。

衣類の場合はそのまま着用できる新しいものが喜ばれています。

一般の特志寄付は、受付窓口のある福祉事務所にお申し出ください。

集められたこれらの同情金品は、社会福祉協議会の資金とあわせて適正に配分されます。

昨年の〝たすけあい運動〟によせられた同情金品はお金が約六五万円、そのほか数多くの物品がみなさんの真心とともに寄せられて社会福祉協議会の資金とあわせて、総額約百万円が四五〇世帯、約一七〇〇人の生活保護者、児童施設、一般福祉施設（老人ホーム、母子寮など）長期療養患者にそれぞれ配分されました。

このようにみなさんの善意の一つ一つが大きな力となり、多くの恵まれない人たちを幸せにしているのです。

なお今年の福祉施設や、長期入院療養患者への慰問は、十二月初めから二十日ごろまでに実施されます。また市内の気の毒な家庭への慰問金品の贈呈は十二月十八日に市民会館で行なわれる予定です。

また運動期間中は、市役所、市民会館、各金融機関に赤い羽根無人箱がおかれみなさんのあたたかい援助をおまちしています。

みんながサンタクロースに

渡辺さん大臣表彰
長年の統計功労で

昭和三十九年度の静岡県統計大会は、約七〇〇名の出席者を集め十一月二十日に市民会館で盛大に行なわれました。

当日は表彰式、大会宣言記念講演などのほかアトラクションとして自衛隊の演奏が行なわれました。

なおこの大会で出席者は「統計技術の研さん、統計教育の充実と普及、機構の近代化」などを全員一致で決議しました。

吉原市関係の受賞者は次のとおり。

▽通産大臣表彰
吉原市役所・渡辺武雄
（日吉町）・興陽製紙KK
▽労働大臣表彰
富士急行KK自動車部
▽県統計協会長表彰
植松電機製作所

渡辺教育長から精勤賞を受ける明石さん

44人が皆勤
…成人学校修了…

成人学校の本十四回修了式はさる十一月十三日に市民会館で行なわれ、修了生四四八人を代表して安藤政雄さん（和田町二）が晴れの修了証書を受けました。

同校は、教育委員会が十三年前開校してから年々受講者もふえ、現在は全国で五位にランクされるマンモス成人学校です。

今年は、八百三十六人の申し込み者のうち約半分の人たちが六カ月間にわたり勉強してきましたが、修了生の出席率はよく、皆勤は木南奈美子さん（泉町）ら四十四人、精勤は明石貢さん（鍛治町二）ら九十七人でした。

また席上、十年以上の勤続講師として、茶道の裏田知津子さん（江尾町）毛筆の渡辺栄作さん（昭和通り）ペン書道の芝田耕一さん（東本通り）に対し、渡辺教育長から感謝状と記念品が贈られました。

アメリカから児童画届く

さる十月二十三日に、米国カリフォルニヤ州イーストウイツター市の幼稚園児小学生のかいた水彩画、油絵、はり紙絵、水墨画など約五十点が吉原ロータリークラブを通じて教育委員会に送り届けられました。

この絵は、吉原ロータリークラブとイーストウイツター市ロータリークラブが数年前から姉妹縁組をしており、この六月交換留学生として、渡井洋治郎（南町）田島万里子（仲町一）、井出令子（鷹岡町）の三名が渡米したとき、吉原市内の小中学生がかいた絵を、両市の親睦と交友を深めるためにと約八十点を持参したものです。

イーストウイツター市から届けられた50点の児童画

返礼として送り届けられたものです。

教育委員会では、十一月二十七日に市内小中学校教員の造型教育研究会の教材として使われたのち、来年二月上旬におこなわれる市内小中学校の美術展に展示して、市民のみなさんにもみていただく予定をたて、もつか準備中です。

害虫退治いまがチャンス
環自協が呼びかけ

〝蚊とハエのいない生活運動〟が各地で活発におこなわれています。

吉原市でも、市衛生課と環境衛生自治推進協会が一丸となり、この運動を強力におし進めています。

環自協は、昭和三十七年二月に発足してから市民自らの手で〝蚊とハエのいない生活〟を目標に、組織の充実をはかりいまでは全町全戸が加入し、防疫器具の購入、防臭剤やポリバケツの斡せんなどの活動をしてきました。

十一月十日におこなわれた環協衛生大会で、組織の充実や活動に対して地区表彰を受けました。

環自協では今後の目標として、防疫器具の購入、蚊やハエの駆除、ねずみ捕獲運動、小中学生の衛生思想の普及などをたて、十一月下旬に市内一斉にねずみ退治を行ないます。

衛生害虫の駆除は、発生期だけではなく越冬中の害虫を駆除することが大切です。今後は越冬害虫の駆除に力をそそぎ、害虫の発生源を取り去るなどより衛生的な町づくりに努めたいものです。

長島さんらが入賞
美術展ひらく

十一月二十五日から三日間にわたり開催される、吉原市美術展の作品募集は油絵、彫刻など一〇二点の応募作品があり、慎重な審査の結果、入賞者が次のように選ばれました。

◇市長賞　該当なし
◇議長賞　長島泰典（大淵）
◇教育長賞　芦沢喜美代（鍛治町一）
◇教育委員長賞　関口純一（長者町）西尾節子（和田町一）
◇努力賞　掛橋裕（今井本町）佐々晋（吹上）音田公子（鈴川町二）
◇奨励賞　河野修三（依田橋）神原信時（商業高校）下山裕子（二中勤務）内田茂（水の上）本多敬子（吉原高校）望月宜明（商業高校）渡辺孝（商業高校）花島幸江（南町）大井芳子（神谷一）仁藤安彦（富士岡花守町）鬼谷明興（鍛治町一）丸茂忍（伝法町二）吉田成子（和田町一）

◆会期＝25日～28日　時間は午前9時～午後5時、最終日は2時
◆会場＝市民会館第一第二

相互銀行でも扱います
電話料の支払い

十一月一日から電話料金の支払いが相互銀行でもできるようになりました。

いままで電話料金の支払いは電話局、郵便局、銀行に限られていましたが、支払い期限内のものは相互銀行でも取り扱います。

また相互銀行では口座振替も取り扱うことになりました。これを利用するとわざわざ電話局へでかけたり、支払い期に気をくばる必要がなくなります。この口座振替をご利用なさりたい方は電話局または取り引き銀行へ印かんをお持ちになつて、お申し込みください。

新しい電話番号簿を来年の二月一日現在で作りますが、その原稿ができあがり十二月十四日まで電話局の窓口に原稿が備えつけてあります。

自分の電話番号がどのようにのつているか、一度たしかめてください。

生ワク投与
24日から12会場で

小児マヒから幼児をまもるための予防生ワクチン投与が11月24日から30日（時間は2時から3時）まで行なわれます。該当者は昭和38年12月1日から昭和39年6月30日までに生れた乳幼児で、前回までに2回以上投与を受けていない幼児。日程は次のとおりです。

▽11月24日＝吉永支所、原田支所
▽11月25日＝元吉原幼稚園
鈴川公会堂
▽11月26日＝大淵第一小学校、神戸小学校
▽11月27日＝今泉小学校、聖母幼稚園
▽11月28日＝曙幼稚園、伝法小学校
▽11月30日＝東小学校、橋幼稚園

造林希望者はどうぞ…
12月20日締め切り

来年の春、補助金を受けて造林を希望される方の受け付けを行なつています。

希望者は印かんと申し込み用紙に必要事項を記入して林産課へ申し込んでください。

◇申込期間＝12月20日まで
◇申込場所＝林産課
◇記入事項＝①造林場所（字、番地）②造林面積（面積は一反歩以上でないと補助の対象とはなりません）③造林予定地の現況④造林樹種、本数

流質物を処分
2日体育館で

吉原市公益質屋では流質物の処分を次の通り行ないます。

①日時　12月2日、午前9時30分―正午
②会場　市立体育館
③品物　衣類その他

無料人権相談所を開設

静岡地方法務局吉原支局と吉原人権擁護委員協議会では12月4日から始まる人権週間中の行事として無料人権相談所を開設します。人権問題でお困りの方はご利用ください。

◇日時　12月8日、午前10時～午後3時
◇場所　吉原市民会館

心配ごと相談

市福祉事務所では
1、家庭のこと
2、くらしのこと
3、こどものこと
4、病気のこと
これら心配ごといつさいの相談のお力添えをしております。

心配ごとがありましたら福祉事務所、またはもよりの民生委員にお気がるにご相談ください。

七才児を祝う
12月1日一斉に

吉原市の七才児祝はことしも市と連合婦人会が中心となつて、12月1日の佳き日市内十一の神社や学校でいつせいに行なわれます

この対象は明春小学校に入学する児童で、式には市長さん、婦人会長さん、校長先生らが出席、お祝のことばや、千歳アメが贈られることになつています。

今月の納税
保険税8期分
（早めに納めましょう）

あんまはり師に朗報

あん摩師、はり師、きゅう師および柔道整復師法の一部が改正されました。

医業類似行為者で、やむを得ない理由により届出ができなかつたと認められる人は、届出ができるようになりました。

おこころ当りの方は本人が直接吉原保健所へお申し出ください。

渡辺教育長から藍綬褒章受章

渡井八郎治さん
藍綬褒章受章

元吉原商工会議所会頭渡井八郎治さん（80）は商工業界の発展につくしたことと、社会福祉事業に多額の寄付をしたことで、このほど政府から藍綬褒章を贈られ、二十四日市民会館で〝賜授祝資会〟が盛大に行なわれました。

吉原市内での藍綬褒章受章者は、故斉藤知一郎さん故金子彦太郎さん、森清之助さんにつぎ四人目です。